

2020 年度事業 進捗報告書（資金分配団体）

- 提出日 : 2022年12月8日
- 事業名 : ローカルな総働で孤立した人と地域をつなぐ
- 資金分配団体 : 公益財団法人 東近江三方よし基金（公益財団法人うんなんコミュニティ財団、公益財団法人南砺幸せ未来基金）

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
実行団体の活動で、対象地域の孤立者と手を握る体制（孤立者へのコミュニケーションサポート体制）が構築されはじめている	1)取組により手を握った孤立者の人数（取組の内容・実施数） 2)孤立者と手を握るための体制が整備されている 3)取組による孤立者が変化した物語	1)11 団体×5~50 人程度 2)11 地域の孤立者と手を握る体制：体制図 3)11 団体×1つ以上	2023 年 3 月	11 の実行団体の活動で、対象地域の孤立者へのコミュニケーションサポート体制を構築中。 1~180 人 計 395 人	2
実行団体の活動で、対象地域の孤立者と手を握り続けるための体制（孤立者及びその世帯へのアウトリーチ体制）が構築されはじめている	1)取組により手を握り続けている孤立者の人数（取組の内容・実施数） 2)孤立者と手を握り続けるための体制が整備されている 3)取組による孤立者が変化した物語	1)11 団体×5~50 人程度 2)11 地域の孤立者と手を握り続けるための体制：体制図 3)11 団体×1つ以上	2023 年 3 月	11 の実行団体の活動で、対象地域の孤立者及びその世帯へのアウトリーチ体制を構築中。 1~123 人 計 323 人	2

実行団体の活動で、孤立者を地域につなぐ体制が構築されはじめている	1)取組により地域とつながった孤立者の人数（取組の内容・実施数） 2)孤立者を地域につなげるための体制が整備されている 3)取組による孤立者が変化した物語	1)11 団体×5~50 人程度 2)11 地域程度の孤立者を地域につなぐ体制：体制図 3)11 団体× 1 つ以上	2023 年 3 月	11 の実行団体の活動で、対象地域の孤立者と地域とのつながる場を構築中。 11 地域 (3~19 団体:103 団体)	2
----------------------------------	---	--	---------------	--	---

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
休眠預金等に係わる資金を活用して孤立者を地域につなぐ民間公益活動団体を支援できている	1)休眠預金等に係わる資金を活用支援した民間公益活動の実行団体数(実行団体が計画どおり活動して成果を発生させているかの確認と非支援内容が整理されている。1)実行体制、2)市内関係団体につなぐ等の非資金的支援など)	11 団体 (実行団体が計画どおり活動して成果を発生させている 具体的な支援内容)	2023 年 3 月	孤立者を地域につなぐ民間公益活動団体 11 団体に支援ができ、ローカルな総働で孤立した人と地域をつなぐ体制が構築されつつある。 (実行団体が計画どおり活動して成果を発生させているか確認でき、その非資金支援内容が整理できている。)	2

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値
5. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
<ul style="list-style-type: none">● マスク、消毒、換気など感染予防の徹底● WEB 会議の利用
6. 実行団体の進捗に関する報告
アウトプットの 1)孤立者へのコミュニケーションサポート体制の構築（孤立者と手を握る）、2) 孤立者及びその世帯へのアウトリーチ体制の構築（孤立者の手を握り続ける）、3) 対象地域の孤立者と地域とのつながる場の構築（孤立者を地域につなげる）ごとの実行団体ごとの進捗の内容は、次のとおりである。 （東近江市） 1)愛のまちエコ倶楽部 （孤立者と手を握る） <ul style="list-style-type: none">● 農業体験プログラム（84人）● ローカルな「暮らし・働き方」をテーマにした講座やワークショップ（96人）● 愛東湖東就農支援協議会『なこーど』 （孤立者の手を握り続ける）● 交流型滞在『お試しステイ』（15名）● 『生業ラボ』：商品開発（1件） （孤立者を地域につなげる）

- 大学ゼミ等連携（4件：滋賀県立大学、龍谷大学、関西大学、近江未来塾）
- 東近江市農業水産課、JA湖東、県農産普及課、一財愛の田園振興公社、農業委員会、東近江市観光物産課、東近江市観光協会、愛東まちづくり協議会、東近江市企画課、滋賀県農林漁業担い手育成基金、滋賀県農村振興課、滋賀県総務部市町振興課、東近江市住まい創生センター、淡海ネットワークセンター、しがトコ（15団体）

2)TeamNorishiro

（孤立者と手を握る）

- 民生児童員、医療機関、行政（生活困窮担当課）、ハローワーク、弁護士、親戚など地域が発見して、応援センター、支援センター太陽が接触する。

（孤立者の手を握り続ける）

- 働き・暮らし応援センター、支援センター太陽、障害者生活支援センターれいんぼうと連携し、空き家を活用して、一人暮らしの練習、緊急避難場、交流の場など孤立者の状況に合わせて多様に活用して、継続的に暮らしの支援を行う。
- 食と心の支援1名、緊急的な暮らしの確保3名、ひとり暮らしの経験1名、働く現場と違う交流の経験10名。
- TeamKonQ（困救）と連携して、薪・着火材の生産・販売で定期的で継続する働く場づくり、自分や地域、働く意味を知り、知り合いや相談相手をつくる。
- 定期的に働く経験5名、着火材22名

（孤立者を地域につなげる）

- 空き家における暮らしにより、区自治会における暮らしを知る。
- 薪・着火材事業により、様々な人とつながる。
- 空き家における交流、研修。
- 多職種の学ぶとつながりづくり7回、87名

3)湖東まちづくり

（孤立者と手を握る）

- 試行運転：通学バス（127日運行 延べ224人：10人）、お出かけバス（8日運行、36人乗車）

（孤立者の手を握り続ける）

- まちづくり会社設立
- バス運行体制の構築
(孤立者を地域につなげる)
- 地域を語る場の開催、意見のとりまとめ：まちづくりネット東近江、東近江市ラウンドテーブル運営委員会
- 民生委員・児童委員協議会
- 学校地域コーディネーター
- 湖東地区まちづくり協議会、区自治会
- 企業：平和堂、愛のまち合同会社

(雲南市)

4)みかた麴杜舎

(孤立者と手を握る)

- 講演・取材（雲南ひまわり福祉会「子育て茶話会 ますなをつむごう」3名、雲南 CATV まちのまる得情報）1名
- 雲南病院小児科瀬島先生の紹介
- 今後の HPSNS、連続5回講座

(孤立者の手を握り続ける)

- 月・火・木・金の個別の学習支援：2人
- みかた Kids 塾：夕方、土曜 10人
- みかたネットワーク親の会グループLINE：27人

(孤立者を地域につなげる)

- 地域おせっかい会議、株式会社コミュニティケア：みかた-NET の支援
- 雲南病院小児科瀬島先生
- 雲南マイプロ（若者チャレンジ）：子どもたちの地域デビュー

5)3C「夢」Club

(孤立者と手を握る)

- 小中学校を通して特別支援学級の保護者に参加申込書やパンフを届ける。

- 希望者に見学や体験を行う。
- 2021 年度新規 10 人
(孤立者の手を握り続ける)
- 1 年間の活動をフォトブックにまとめ親に提供。子ども活動が理解でき好評。
- 島根県立大学、特別支援教育の専門家、教育委員会、企業、NPO 等の代表による調査研究プロジェクトを立ち上げ、発達段階に応じた社会教育体験プログラムづくり
- 2021 年度参加者 12 人
(孤立者を地域につなげる)
- 加茂地区自主組織の交流センターでもプログラムを実施。
- 島根県立大学、認定 NPO 法人カタリバ、うんなんコミュニティ財団、(株)キラキラ雲南、雲南市社会福祉協議会、雲南市教育委員会等、多様な主体とのネットワーク会議

6) 産前産後ケアはぐ

(孤立者と手を握る)

- 当初計画では母子手帳交付時に、プレゼント BOX のチラシを配布して、LINE グループに入る計画であった。しかし、申請者への直接チラシ提供の協力は得られず、窓口での設置に留まった。このため、チラシを行政窓口の他、小児科、スーパー、自主組織、子育て支援センター、郵便局などに設置したり、新聞取材を受けたりで広報した。また、サークル活動の参加者が、はぐの活動を紹介
- この結果 6 月から 3 月で BOX を 21 名に提供するとともに、LINE には BOX を受取っていない方も含め 26 名の新規参加があった。

(孤立者の手を握り続ける)

- LINE は支援者も含め 123 名登録。オンラインでは HP、LINE、Facebook、Instagram、Twitter。オフラインでは、はぐもぐ食堂、サークル活動、チャレンジ事業、寺子屋、双子親のぱひこなど多様な親子の会。
- 助産師による産後ケア (のべ 6 人)、母親教室 (のべ 20 人) で継続的につながる。

(孤立者を地域につなげる)

- 企業・事業者：プレゼント BOX の協力品の提供 12 社
- 加茂地区自主組織、加茂子育て支援センター、社会福祉協議会；双子親のぱひこやはぐもぐ食堂への支援
- 地域の高齢者：はぐもぐ食堂への食材提供や支援

7) うんなん多文化共生まちづくり協議会

(孤立者と手を握る)

- コロナの影響で新規に入国できない状況である。
- 在住外国人が 220 人から 200 人弱に減少。
- 土曜日の日本語教室に参加できなかった技能実習生が、日曜の交流型ツアーの実施により新たに 4 名参加。
- 県の訪問日本語教室
- 新市 タイの家族

(孤立者の手を握り続ける)

- 日本語サロン。野外ツアーなどで 18 名の在住外国人とつながっている。

(孤立者を地域につなげる)

- 自主組織（新市、掛谷、加茂）：日本語教室、交流、日常の暮らしでの困りごとの支援、防災活動への参加
- しまね国際センター：訪問日本語教室、日本語パートナー（外国人サポーター）養成講座

(南砺市)

8) テラまちコネクト

(孤立者と手を握る)

- 「テラまち雑貨店」という拠点
- Instagram、HP の他、新聞などのメディアで情報発信
- 2021 年 10 月 10 日プレオープン、2022 年 4 月 24 日にグランドオープン
- Instagram フォロワー 762 人
- やりたいこと、できることの募集

(孤立者の手を握り続ける)

- ワークショップや雑貨の販売
- テラまちコネクトの LINE 参加者 7 人

(孤立者を地域につなげる)

- 瑞泉寺
- 認可外保育施設 寺子こどもえん

- ジソウラボ：「人材輩出のまち#波をつくること」をビジョンに、地域起業家を県外から募集し伴走するプロジェクトチーム
- ほのぼのマルシェ：寺子こどもえん主催のマルシェ

9) マーシ園

（孤立者と手を握る）

- 民生委員・児童委員協議会（旧8町村）への説明会
- 4地域の地域づくり協議会をモデル地区として設定
- 南砺市全戸にチラシ配布

（孤立者の手を握り続ける）

- ミライサポートあいの開設
- ミライサポートあいの利用者15人（本人、家族、親戚など）
- アセスメントの実施うち4人

（孤立者を地域につなげる）

- 福祉事業所（ミライサポートセンター、相談あい、相談きらり、ピアサポートあい、なんと共同作業所、事業所、高機能障害支援センター、マーシー園ヘルパーステーション、ピースあけぼの）医療機関（福井病院、南砺市民病院、川田クリニック）行政（市福祉課、ハローワーク）、地域（民生委員、区長など） 当事者3人、関係者9人

10) ガラパゴス

（孤立者と手を握る）

- 社会福祉法人マーシ園 1人

（孤立者の手を握り続ける）

- 桜ヶ池キャンプ場を利用して、島田木材から原木（9千円/kg）原木を仕入れ、薪の製造を開始。販路先は市内薪ストーブ店。煙突を見てのポスティング。現在1人。
- 地元柿農家の剪定枝を回収し炭化加工後、堆肥として販売する計画であった。各柿農家にチップパーが導入され、剪定枝のチップ化を各農家で行う。今後は北産株式の炭化施設整備及びバイオ炭を燃料のストーブ販売事業の進捗に合わせて事業を進めていく。

（孤立者を地域につなげる）

- 2022年6月4日桜ヶ池キャンプ場のグランドオープン
- 南山田地域づくり協議会など地域との交流会を開催していく。
- 立野原を盛り上げる会との連携

11) なんとおせっ会移住応援団

(孤立者と手を握る)

- 空き家所有者：月1回の市主催の空き家相談会：意思決定された空き家持ち主14戸
- 移住希望者：HP、なんとで暮らしませんか課、マッチングツアー、婚活倶楽部なんと、アテンド：11件

(孤立者の手を握り続ける)

- 移住者同士の交流会

(孤立者を地域につなげる)

- なんとで暮らしませんか
- 8地域の不動産会社、空き家対策に係わる団体と空き家MAP作成
- 空き家対策推進委員、地域づくり協議会：研修会
- アキヤラボ
- 経済同友会

③広報 (※任意)

1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)

(東近江市)

- ・滋賀報知 2021年1月9日(土) 第18933号 | 東近江・湖東 ニュース 公募説明会

(南砺市)

- ・富山新聞 31面 2020年10月10日(土)「休眠預金の分配団体に」
- ・富山新聞 22面 2021年1月8日(金)「休眠預金を活用助成団体を公募」

- ・富山新聞 24面 2021年4月24日(土)「休眠預金で事業支援 4団体に2906万円助成」
- ・北日本新聞 2021年4月27日(火)「休眠預金助成4団体に2900万円」
- ・富山テレビ 2021年4月29日OA「ここにある未来 vol.5 地域のお金でつくる地域の未来(南砺幸せ未来基金)」
https://news.bbt.co.jp/topics_detail.phtml?Record_ID=5d60506a22e27ea351de6a408135545c&autoplay=allplay
- ・北陸中日新聞 8面 2021年4月30日「ここにある未来」連動記事

2.広報制作物等

—

3.報告書等

—

4.イベント開催等(シンポジウム、フォーラム等)

—